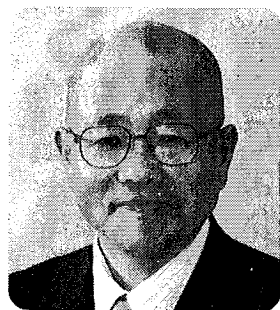


市民の思いは、●「くらしが悪くなった」55%●1位「国保・介護の負担軽減」51% 日本共産党のアンケートより

2月3日・選択の日

あなたの願いにぴったりな人を選ぶ 3つの“モノサシ”



市議会議員

竹森まもる

市民の願い届けるバイク便

1952年檀原市生まれ。天理大に学ぶ。民商事務局長を経て、市会議員3期。

日本共産党



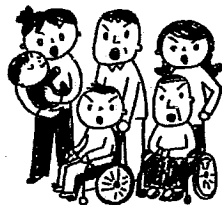
“地獄に仏”——親身な生活相談

「半信半疑で共産党のところに来たが、地獄に仏だ——相談に来た方の言葉です。いつでもどこでも、どんな小さなことでも、くらしの困りごと、相談活動に親身にとりくむ日本共産党の議員は、まさに“3人の生き仏”です。」

③

身近なくらしの相談にのり 市民とともにがんばる人を

日本共産党



国保の負担軽減へ——国が責任を

檀原市の国保は自・公・民が賛成した相次ぐ値上げで、7世帯に1世帯が滞納するまでになっています。二三年前は、非正規労働者の加入が増え、滞納者の9割は年収200万円以下です。国と大企業が正社員をどんどん切つて、非正規に切り替えてきた結果です。さらに、国は国保の国庫負担を50%から35%に切り下げ、檀原市では年3億円の負担増になっています。日本共産党は国庫負担をもとにもとめて、国保の負担軽減をはかるためにがんばります。

②

国の悪政とたたかつて 命と暮らしを守れる人を

日本共産党



“ゆりかごから墓場まで”

3人乗り自転車への2万円補助、合葬式の市営墓地など、市民の願い実現へ力をつくしてきました。子どもの医療費無料化の拡充では、市民とともに運動をつづけ、市議会にもくりかえし提案しています。

①

市民の願い実現めざして がんばってきた人を

市民のくらしが大変になるなかで、市民の願いにこたえるのはどの党、どの人かが問われています。日本共産党の働きぶりを「うんく」ください。

自民、民主、公明などの人たちは…

▼高い国保税で、いまや滞納は7世帯に1世帯に。それなのに値上げにことごとく賛成し、2年前には1~4万円の負担増に。

▼子どもの医療費無料化拡充の提案を、2度も否決。

歩道の真ん中にあった電信柱を移動

「県道沿いにある、歩道の真ん中に電信柱があって危ない」…住民の声にこたえて、関電や県と粘り強く交渉し、移動させました。国にも大企業にもはっきりものいえる党だから、できます。

民報 **かしはら**

2013年1月号外

100円

●日本共産党の政策をご紹介します。



歴史と文化が生き—— 安心して住み続けられる橿原市へ

3議席で条例案を提案して 市民の切実な願いを実現します

議会では少数でも**日本共産党**が市政を動かせるのは…

日本共産党は、①市民の願いにこたえて具体的な解決策を提案し、
②市民とともに世論と運動を広げ、③議会でも他党の議員にはたら
きかけ、党派をこえた共同を広げているからです。

日本共産党

市民のいのちを守るために

●国保税1世帯1万円の引き下げを

国保証の取り上げはただちに中止を

国と市の責任で国保の引き下げを。保険証のとりあげは人権問題です。

「子育てするなら橿原市」といえるまちへ

●子どもの医療費を中学卒業まで無料に

病院での窓口払いをなくします

窓口払いをなくしているのは、全国で38都府県に広がっています。

業者の仕事と雇用を増やす

●市独自の住宅リフォーム助成制度を

広陵町では二千万円の助成で4億4千万円の工事に。経済効果は22倍。

通院、介護、買い物―「くらしの足」のために

●コミュニティバスの路線の拡充―住宅地にも

藤原京、今井町など…

●歴史・文化と住民のくらしを両立させた街づくりを

財源―税金の使い方をくらし最優先に

橿原市の財政規模は約400億円。国保税の1世帯1万円引き下げに
必要な1億8千万円は、そのわずか0.45%です。民生費の割合を奈良
市並みにするだけで、7億8千万円のくらしの財源をつくれます。

子どもの命を奪う体罰をなくすために力をあわせましょう

「いじめ自殺」に続いて、体罰による高校生の自殺に、多くの市民が胸を痛
めています。暴力や体罰は、本来教育とは相いれませんが。教育評論家の尾木
直樹さんも、体罰に「教育効果がまったくない」と断言しています（しんぶん赤
旗より）。日本共産党は、学校、スポーツ界から体罰や暴力をなくしていくた
めに、父母、教職員はじめ、市民のみなさんと力をあわせていきます。



「共産党は大丈夫」という口コミは、「共産党落とし」です

日本共産党の議席は、市民の命と暮らしを守るために欠かせません。政策や実績を語
らずに「共産党は大丈夫だから、票は私に」というのは「共産党落とし」です。「大丈夫」という
声を真に受けて、他の人に票をまわして落としたり、市民の暮らしがたいへんになります。